日薬発第304号 令和7年2月27日

都道府県薬剤師会会長 殿

日本薬剤師会会長岩月進(会長印省略)

日本薬剤師会雑誌の完全電子化に向けた対応 「日薬雑誌アプリ」の運用開始について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日頃より「日本薬剤師会雑誌」をご購読いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、本誌は昭和24年(1949年)より発刊を続け、多くの皆さまにご活用いただきながら現在まで成長してまいりました。そのような中、近年のデジタル社会の進展に鑑み、本誌を電子的に活用するために、令和7年4月より、本誌のデジタルコンテンツを配信する「日薬雑誌アプリ」(以下、アプリ)の運用を開始することといたしました。これによりスマートフォンなどの端末を利用して、手元で手軽に最新号からバックナンバーまでいつでも閲覧ができ、必要な記事を検索することなどが可能になります。本アプリの運用には、「Poste(ポステ)」*1を利用いたします。なお、本会ホームページ(会員向けページ)でこれまで閲覧が可能でありました「日薬雑誌電子書籍」*2も継続いたします。

また一方で、昨今の物価高騰や人件費・郵送費の上昇などの影響により、紙の冊子の発行にかかる費用が大幅に増加する状況となっております。

つきましては、本年4月のアプリ稼働後は、9月号まで紙の冊子も発行し、翌10月号より、 会員全員の皆さまへの紙の冊子の郵送を原則として終了いたします。10月号以降も紙の冊子を 希望される方からのお申し込みを、令和7年7月頃より受け付ける準備(詳細は追ってご案 内)を進めておりますが、紙の冊子の郵送は令和8年3月号の発送をもって完全に終了いたし ます。

会員の皆さまには、別紙の「お知らせ」等を用いて、日本薬剤師会雑誌4月号~9月号(計6回)にてご案内し、日薬ホームページ等でも案内を進めてまいります。

今後もさらに、より有用かつ最新の情報をお届けできるよう誌面の充実に努めてまいります ので、この度のアプリの導入、紙の冊子の廃止に向けた対応について、何卒ご理解いただきま すよう、貴会会員への周知につきましてご高配のほどよろしくお願いいたします。

※1 「Poste(ポステ)」のインストール方法や仕様は、別紙「ご利用ガイド」をご参照ください。 ※2 現在、本会ホームページ(会員向けページ)の「日薬雑誌電子書籍」は印刷できないように制限を かけていますが、本年4月からは利便性向上のため制限を解除し、印刷を可能にいたします。

【参考】今後の予定

